



学校だより

学校教育目標

郷土を誇りに思い、未来社会を生き抜く児童生徒の育成

唐津市立加唐小中学校

第2号

令和3年4月15日発行

文責 校長 宮地 浩幸

令和3年度がスタートしました。

令和3年4月6日(火)の朝、少し風は強かったのですが、日差しもありました。校門で子ども達の登校を待ち望んでいました。4人の在校生は元気な姿で登校してきました。いつものような挨拶でこちらが元気をもらいました。新年度が始まったことを実感するとともに、責任の重さを感じる日でもあります。今年は桜が咲くのが早く、散際の桜で玄関前が少し寂しい気もしますが、学校が活気を取り戻した瞬間です。

子ども達はまず、校舎をきれいに掃除して、赴任式に臨みました。先日、5名の先生方とお別れをして、心に穴が開いたような気持でしたが、新たに5名の先生方にお会いして心機一転やる気がわいてきます。今年は、若い先生方の転入が多く、子ども達との年齢も近いことが安心感を産むようです。赴任式では、先生方の自己紹介を受け、中学生が歓迎の言葉を述べてくれました。

本年度の先生と児童生徒の体制が整ったところで、始業式を行いました。年度当初にあたり、まだまだ新型コロナウイルスの終息が見えない中で、不安はたくさんありますが昨年度しっかり学校生活を送り、結果を残すことができた子ども達を称え、本年度も勉強やスポーツをしっかり頑張ることを伝えました。そして、先日オリンピックの代表に内定した水泳の池江選手のことを伝えたくて「決してあきらめない努力」の話をしました。2019年2月に白血病と診断されて、闘病生活、退院、リハビリ、復帰のための練習を行い、目標は2024年パリオリンピック出場としていた池江選手の今回の代表内定は、国民に勇気と感動を与えてくれました。もちろん本人の底知れぬ精神力や血のにじむような努力があったことは間違いありませんが、彼女が東京オリンピックの代表を勝ち取ったことで私たちに勇気と大きなやる気を与えてくれました。

本年度から中学校では新学習指導要領が完全実施になります(小学校は昨年度から)その中で、学習に取り組む意欲や姿勢を評価することになります。勉強においてもやる気は学力を向上させる大きな要素です。根気強く学習に取り組み自己の適性に合わせてそれを調整していく力が必要になります。池江選手の今回の快挙はその典型的な例のように思えます。



入学式、新しい仲間ができました。

4月9日(金)10時より、本年度もコロナ禍において、昨年度同様の令和3年度加唐小学校入学式を執り行いました。今年は小学校に男女1名ずつの児童が入学してきました(中学校の入学生はありません)。2人とも少し緊張した趣でしたが、小学校でこれから勉強するんだという喜びに満ち溢れていたよ

うに感じます。例年、式辞の中で本校の「永遠のめあて」の紹介をします。子ども達に、知、徳、体のバランスの良い育ちをしてもらうためには、絶対に欠かすことができない内容です。

「つ」…強いからだ 「ば」… バリバリ勉強 「き」… きちんと挨拶

義務教育の開始に際して、子ども達に教科書を渡した時に、「ありがとうございました」と返事をしてくれて、小さいながらにこれからの「頑張るぞ」という意思ややる気が伝わり、しっかり学校の役割を果たさなければならないという責任を強く感じました。そして、入学児童は、それぞれ誓いの言葉を皆さんの前で堂々と声に出していうことができました。その力強さに今後の頑張りを期待したいと思います。

入学式が終わり、加唐小中学校の児童生徒全員がそろいました。加唐小中学校は唐津市内で最も小さな学校です。しかし、勉強やスポーツなどに関して決して、引けを取ることが無い学校です。本年度も保護者や地域の方々と連携を密に行い子ども達のために頑張っていこうと考えます。ご協力のほどを宜しくお願いします。



歓迎遠足

4月13日(火)に歓迎遠足を行いました。前日までの雨で、午前中は天気が思わしくありませんでしたが、昼頃から回復するという予報が出ていました。それで、時間を少し遅くして、カリオ灯台へ向けて午前11頃に学校を出発しました。初めは少し肌寒かったのですが、子ども達は遠足が実施できることで大変うれしそうでした。足取りも軽く、楽しく談笑しながら、1時間20分ほどの行程を経て、カリオ灯台に到着しました。佐賀県最北端の地は、海からの大変強い風が吹いていました。日差しはあったので、そこでお弁当を食べて、遊びの時間をとろうと思いましたが、あまりの風の強さに、それをあきらめ大泊に行って昼休みの休憩をとることに変更しました。風が強かったので例年行っている遠足の後のクルージングは取りやめました。

小学1年生には、少しきついかもしれない島内の遠足でしたが、特に大きなけがや体調不良を訴えることもなく、無事に日程を終えることができたことにちょっと安堵しました。子ども達の心の教育を行うにあたり、校外に出て、島の自然に触れ、子ども達同士が交流を深めることに大きな意義を感じます。来年は、天候に恵まれ、クルージングができることを願います。



昨年いただいた校長室の胡蝶蘭が再び咲きました。

昨年は、桜の咲くのが遅かったので、入学式の頃は満開の桜で、新入生を迎えることができました。しかし、今年は、開花が例年より早く、入学式の頃には葉桜の状況でしたが、校長室の胡蝶蘭が加唐小中学校の新学期をお祝いしているように感じます。前にもお祝いの時に胡蝶蘭をいただいたことが何度かありますが、2度目の花を咲かせたものをあまり見たことがありませんでした。それほど、2度目の胡蝶蘭を咲かせるのは難しいと聞きます。よほど校長室の環境が適していたのだと、今後の行く末を占う様で元気をもらいました。

